

# コヒバリ *Calandrella cheleensis* の網走地方における初記録

川崎 康弘

099-3452 北海道斜里郡小清水町浜小清水72-25, 日本野鳥の会オホーツク支部

## First Record of Asian Short-toed Lark *Calandrella cheleensis* in Abashiri District, Eastern Hokkaido

KAWASAKI Yasuhiro

Okhotsk Chapter of the Wild Bird Society of Japan, 72-25 Hamakoshimizu, Koshimizu, Hokkaido 099-3452, Japan  
✉wryneck123@gmail.com

コヒバリ *Calandrella cheleensis* は、トランスバイカリア東部、モンゴル北東部、中国東北部で繁殖し、冬季はトルコ、シリア、イラク、イラン、東はバイカルから中国北東部へと渡る種で、日本へは数少ない冬鳥または旅鳥として渡来する（五百沢ら2004）。記録は全国的にあるが（日本鳥学会2012）、北海道では少なく、藤巻（2012）では奥尻島と根室市の2例を採録しているのみである。

筆者は2001年にオホーツク総合振興局（当時は網走支庁）管内の鳥類の記録を整理して発表したが（川崎2001）、その後も記録の収集と目録の随時更新を続けており、日本野鳥の会オホーツク支部のウェブサイトにて最新版を公開し（日本野鳥の会オホーツク支部、オホーツク圏鳥類目録、日本野鳥の会オホーツク支部、<http://www.wbsj-okhotsk.org/zukan/frame.html>, 2013年12月23日閲覧）、情報提供の呼びかけも行っている。これまでに網走・北見・紋別地方において本種を確認したという報告は寄せられておらず、筆者が2013年11月に小清水町において確認した記録が北海道東部では2例目の記録であり、北海道オホーツク海側では初記録と考えられるため、詳細を報告する。

2013年11月28日、北海道斜里郡小清水町浜小清水（43°55′31″N, 144°28′12″E WGS 84）において

コヒバリを確認した。周辺環境は収穫後のデントコーン畑で、畑の縁にはヨシ *Phragmites australis* などの高茎草本が茂る側溝と、それに並行する細い未舗装路（町道19線）がある。

筆者は14:50に車両で町道19線を微速前進中、数m前方の道路から1個体が飛び立ち、約10m先の側溝脇の地上に降りるのを確認した。そこで10倍の双眼鏡と300mmレンズ付きデジタルカメラを用いて観察を行った。

この個体はすぐに歩いて草むらに入ってしまった、一時見失った。そこで個体を見失った場所の周辺に車両を停止させ、エンジンを切り、窓枠に黒いメッシュ地の簡易ブラインドを張って待機していたところ、数分後に草むらから畑へ出て、速足で移動する姿を確認した（図）。数mほど速足で移動したあと、またすぐに飛び立って約30m先の畑へ降りた（15:00）。観察圧が過剰になるのを避けるため追跡はせず、一時現地から退避し、約15分後に車両を微速前進させながら周辺を探してみたが、見つからなかった。

野外観察および写真から、この個体は（1）全体的に灰色みを帯びた淡褐色（2）体長はヒバリより明らかに小さく、スズメ *Passer montanus* 大（3）嘴は象牙色で、太短くて丸みを帯びる（4）明瞭な眉斑

図. 小清水町浜小清水で観察された  
コヒバリ *Calandrella cheleensis*.



はない (5) 三列風切の先端から初列風切が大きく突出する (6) 口角が眼先の下まで達しない (7) 背や肩羽の軸斑が小さく、斑があまり目立たないという特徴がみられた。これらは五百沢ら (2004), Shimba (2007), Brazil (2009) におけるコヒバリの記載と良く一致した。

なお、本種に類似する種として同じヒバリ科 Alaudidae のヒバリ *Alauda arvensis* や、同属で酷似するヒメコウテンシ *C. brachydactyla* が挙げられる。しかしヒバリとは (1) - (4) により、ヒメコウテンシとは (5) - (7) により識別できる。

#### 引用文献

Brazil M. 2009. Birds of east Asia. 528 pp. Christopher

Helm Publishers, London.

藤巻裕蔵. 2012. 北海道鳥類目録 (改訂4版). 78 pp. 極東鳥類研究会, 美唄.

五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸. 2004. 日本の鳥550: 山野の鳥 (増補改訂版). 384 pp. 文一総合出版, 東京.

川崎康弘. 2001. 網走支庁管内鳥類目録: 北海道・オホーツク圏で確認された鳥類. 知床博物館研究報告 22: 55-68.

日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録 (改訂第7版). 438 pp. 日本鳥学会, 三田.

Shimba T. 2007. A photographic guide to the birds of Japan and north-east Asia. 504 pp. Yale University Press, New Haven.